夕刊
常磐新聞
九月二十九日
發行兼編輯印刷人 伊藤縣次
磐城郡平町五九 常磐新聞社
日曜祭日整日休刊
一部二錢 一ヶ月 五十錢
廣告料 一行 五十錢
本社 小名濱町古港一
支局所在地 平町材木町二〇 四倉町停車場通り 湯本町新校舍前 植田町金畑五

一齊整理斷行最初の底曳機船に解禁迫る

全國當業者注視の焦点に立つ

本縣船百三十一隻の活躍

機船底曳網の解禁はいよいよ來月一日に迫り小名濱、江名各港當業者は目下出動準備に大童となつてゐるが本縣の同漁業は全國に率先して一齊整理斷行後最初の操網のためその成果は農林省は勿論全國斯業者の注視の焦點に立つてゐる、因に本縣機船底曳網は大正六年小名濱港の十四隻を嚆矢に同漁業の確實性により燎原の火の如く發達し漁場の荒廢を恐れて中山前試驗場長が英斷的に一齊整理斷行したもので整理後の狀態は百二十三隻三千七十四噸となつたが本縣船の有利な點は禁止區域外へ僅か三浬程度に比べて非常に地の利を得てゐる、尚漁獲物は深淺両海魚鮃、沖ギス等あらゆる魚族を網羅し一隻平均水揚高は一萬圓乃至二萬圓で乘組員好成績であると

三陸より吉報

諏訪丸一擧五千余圓漁獲

揚操網船も超大漁

磐城七濱の揚操網漁船は既報の如く續々金華山沖合漁場に出動し猛烈な活動を續けてゐるが今廿九日小名濱漁業組合に達した情報によれば小名濱町野崎貞行氏所有揚操網漁船諏訪丸の廿七日の鹽釜港への水揚高は五千四百余圓といふ巨額に上り平均三四千圓を遙かに突破する記錄破りの大漁で尚以下十七統の本縣船も頗る好成績であると

郡南各校合同體操演習會

第一區第一方部の勿來、川部、植田、山田四校合同体操演習會は來月一日午前九時から勿來小學校々庭で挙行される

東北六縣無盡業者大會

來月七日平町で

磐城無盡會社主催第十二回東北六縣無盡業者大會は來月七日午前十時から平町第三小學校で開くが出席廿三社で大藏省の和田銀行局長と縣から追經濟部長その他出席する

磐女出場選手

關東北高女排球大會

來月四日東京芝恩賜ヨートで挙行される關東北高女排球大會には磐城高女も參加することになつたが出場選手は左の如くである

△前衛　鷲マス子、立花キミ子、正木千鶴子

△中衛　江川照子、鈴木キヨ子、飯島シゲ子

△後衛　鯨岡爲子、菊地テツ子、吉田久美

△補欠　大泉經子、鈴木トヨ子、春川千代

日蓮信者の斷髮女

家出、平方面に潛伏か

山形縣東村山郡青柳村設樂留太郎妻ミツ子(二六)は去月來行方を晦ましたが平方面に來たらしい形跡により二十九日留太郎は平署に願ひ出た　尚同女は斷髮の日蓮信者であると

横田に求刑二年

平町字材木町一三横田淺吉(三三)にかゝる文書僞造、詐欺、恐喝、塲害事件の控訴審は二十八日福島地方廷で開廷された結果原審通り懲役二年の求刑があつた言渡しは明三十日

平局懇談會

平郵便局從事員懇談會は既報の如く來月一日午後六時から開催されるが會場はマルトモホールに決定した

道路が惡い！

江名、鹿島の陳情

鹿島村走熊より江名町に通ずる府縣道江名線は平——小名濱間の中區より分岐し江名町に通ずる最も重要な産業道路であるが極度に頽廢し車馬は勿論單なる歩行にも難澁を來たす有樣なのでこの工事に關する陳情書を今廿九日河野江名町長志賀鹿島村長以下両町村議連名の上平土木監督所を通じて縣に提出した

小名校の秋季運動會

來月七日挙行

小名濱小學校並びに同實業學校合同秋季大運動會は來月七日午前八時より同校々庭で挙行される　尚泉小學校の運動會も同日挙行

第三運動會

廿七日挙行のはずであつた平第三小學校の運動會は今廿九日行はれたが好天氣に惠まれ盛大であつた

小名濱商港修築工事

第一期は明年度修了

第二期工事の成否如何に注目

總工費二百七十六萬圓の小名濱商港修築工事も明十二年度工事廿三萬圓で愈々終局を告げる事になるが地元小名濱と縣當局の第二期工事繼續運動が奏功し內務省明年度の豫算に百八十萬圓を認められ目下大藏省で査定考究中なりとあるが萬一の不安の飛電もある町當局では極力その經過成行きを監守してゐる、幸ひ政府の認むる所となり議會も無事通過すれば明年度から直に着工する事になるが明年度は第二期工事が明年度から名濱商港修築工事も明十二年度工事廿三萬圓で愈々終局を告げる事になるが地元少額の計上で差支へなく要確實に着手されるか否かにあると當路者も語つてゐる

校舍敷地電柱移轉で

平第四校建設委員

近く磐炭に交渉

平町第四小學校建設委員會轉問題について協議したが平町第四小學校建設委員會は二十八日午後一時から開移轉を要する十六本のうちめた旨手配中の平署に通知があつた

純農村に相應しい泉校の農塲祭

來月一日盛大に執行

昨年四月篤志家の厚意によりを了した新進氣鋭の士で今反歩の農塲を備へた泉小學校では其後全校學童が仔々として精進の結果荒蕪の地も美田と化したので來月一日午前十時より盛大な農塲祭を執行する事となつたが當日は學童の奉納角力武、道大會を催す筈

後任西條警部補即日赴任

講習所出身の俊才

榮進を約束されて東京警察官講習所入りとなつた中島警部補は昨廿八日早朝官民多數見送りの下に出發したが後任は警部補西條三一氏は同日東京より赴任した同氏は安積郡出身縣警察部勤務中拔擢され前記講習所

雨傘二十本

昨夜平町のコソ泥

平町古鍛冶町三八雨傘製造業猪狩荒家方で昨廿八日夜台所に置いた傘廿本を何者かに窃取され今朝届け出た

磐中捷つ

中學教員野球戰

昨廿八日午後三時半から磐中球場で挙行された常磐毎日新聞社主催平町中等教員軟式野球大會第一回磐中對中商戰は左の如く磐中軍の捷ち

商	5	1	3
	2	0	2
中	3	3	8
	4	1	0
	17		13

尚今廿九日も引續き磐中對磐女の決勝戰が行はれる

旅館荒しの十八少年街上で毒藥を嚥む

後を追つて來た女は情なく相棒が逮捕された悲觀の末

既報、湯本町裏町旅館備中屋で相棒國分久志(三)と共に廿四日から三日間連日藝者をあげて遊興廿八圓余の宿料を踏倒して走逃行方を晦ました郡山市清水臺文具店一心堂こと龜三氏二男俊輔(二八)は廿六日午後八時半俊輔は郡山市藝者屋月の家方の抱藝者小はんの色香に迷ひ馴染を重ねてゐたが小はんが去る四月平町三好家に鞍替したので同女の後を追ひ平町に來たもので備中屋から逃逃走歸宅したが父親から痛く叱責され小はんの態度も冷酷であり、あまつさへ相棒の國分は捕はれたのでつい思ひ余り自殺を企てたもの

泉中堅青年が農民道場視察

泉村青年團員二十余名は昨廿八日中野自校長外農業指導員引率の下に矢吹ケ原農民道場並びに白河の馬市視察のため出發三十日歸村の豫定であると

女房家出

仙台から郡内に？

去る一日夜仙台市東三番町一四一熊谷清記內妻早坂たつの(三三)は八ッの子供を殘して家出郡內に來たらいと廿九日清記から平署に捜索願

嵐の余波

梨の洪水

廿七日午後から廿八日未明に續く暴風雨のため石城地方の梨は殆ど地上に叩き落されたので果樹組合の共同出荷など滅茶々々になり關係方部では非常に狼狽してゐるが各問屋方面には一時に梨が押し寄せる事とて相塲は大暴落を來すものと豫想されてゐる

小野亀次氏

（舊名仙次）

立花雄七氏の叔父に當る小野龜次氏(舊名仙次)は豫てより病臥中の處病革り廿七日午後六時逝去した享年六十二、葬儀は卅日八島屋より出棺淨光院に於て佛式を營む

氏は早くより漁業組合及び魚市塲等に勤務し漁業事務に一生を捧げた篤行の人であつた

頃劇藥自殺を計り郡山市北町の街路で苦悶中を發見され最寄の病院に擔ぎ込み手當を加へた結果生命は取止めたが旨手配中の平署に通知があつた

匡救工事續行を

永戸村で陳情

永戸村ヘ字渡戸より同永井に通ずる町村道救濟工事は昭和七年、九年、十年の三ケ年工費八千圓を以つて着手されて來たが殘余の約十五町工費四千圓は今年度中に續工されたい旨今二十九日同村々議二名區長一名が來平、平土木監督所に陳情した

豪雨の被害は

平土木監督所管內に於ける計一萬八千四百圓

過般の豪雨により平土木監督所の調査による管內被害は次の如く損害總計一萬八千四百圓であつた

△道路四ヶ所六千五百圓　△橋梁二ヶ所三千圓　△河川三ヶ所八千九百圓

スペイン內亂を繞つて湯本町に警告す（上）

畑成三

二月余に亘るスペインの內亂が依然として渾沌たる形勢に亂舞し、前途の見透しも頗る困難を傳へられてゐる。

よし首都マドリッドが反軍の手に陷つ事ありとしても、それが直に國內の安定をもたらすかどうかは疑問とするところであらう、從つて吾人の關心は內亂の推移そのものよりも、スペイン國內の內亂が歐洲列强に及ぼした波紋にあるのである。思想的背景によつて動かされてゐるスペイン內亂が、それ〳〵共鳴する政治思想のもとにある歐洲各國に、エチオピア問題に釀成された歐洲列强の關係が、スペイン內亂を動機として愈々露骨に現れて來たにすぎないのである。

かゝる情勢にある時、よしフランスが先んじて、スペイン內亂不干涉提案を歐洲列强に提示し、列强は之を外交的折衝上原則的に承認はしたものゝ、時すでにフランス、ロシアの民間團はこれを阻止せしめたとき體がスペイン人民戰線政府に、精神的、物質的両方面より援助を與へてゐる事は事實であり、從つて兩國政府は此に對して暗默裡に許容したとみるべきであらう。

過般スペイン人民戰線團體より日本に救援を求めて來た際、我が左翼團體がこれに應ぜんと奔走したときこれを探知せる警視廳當局はこれを阻止せしめたとき此處に於いて吾人はスペイン人民戰線の思想的背景が我國體の進展を阻害するものであるか否かを檢討する必要に直面したのである。

併し、スペイン內亂そのものか歐洲列强をして、かゝる對立に離合せしめたとは早計である。即ち、スペイン人民戰線は共産主義の提携並に、エチオピア問題に釀成された歐洲列强の關係が、スペイン內亂を動機として愈々露骨に現れて來たにすぎないのである。

かゝる情勢にある時、よしフランスが先んじて、ス

開院廣告
平町般城生活病院 電六四番
內科 院長 醫學博士 長谷部喜久
小兒科 醫學士 多田壽雄
外科 耳鼻咽喉科 東京醫學士 市川繁
性病科 醫學士 草刈邦彥（毎週一日曜日）
產婦人科
レントゲン科 醫學博士 長谷部喜久
藥局長 藥劑師 吉本孝平
事務長 高畑清志
◇診療時間 午前八時ヨリ午後六時マデ
◇往診 午後 急患ハ此ノ限ニ非ズ
◉病室完備、入院隨意◉

◇看護婦募集◇
多忙に付き至急二十名を求む
但し有資格者
横濱市神奈川區御殿町一三
神奈川看護婦會
申込受付 江名町北町 坂本千代子宛
希望者は手紙にて申込も可

富國徵兵保險相互會社保險醫
小兒科、內科、外科、性病科、耳鼻咽喉科
山野邊醫院
◇入院隨意
山野邊忠雄
植田町電話六七番

◇天氣豫報◇
今晩　北西ノ風晴
明日　北東ノ風天氣次第ニ惡クナル

◇小名濱干滿時間◇
（九月廿九日）
滿潮（前）九・三〇　（後）一〇・〇〇
干潮（前）三・一〇　（後）一〇・四〇

小野龜次儀永々病氣の處藥石効なく二十七日午後六時逝去仕り候間此段及御通知候
追て葬儀は來る三十日午後二時八島屋より出棺淨光院に於て佛式相營み可申候
昭和十一年九年二十八日
喪主 小野英八郎
親戚 立花雄七
藤井智治
總代會 田
山野邊亮
西山直三郎

ある男の手記

多賀達夫

（二）

しばらくたつて、やがてそんな狀態から甦つたS子はあたりを見廻しながら

「おかしいわね」と云つた。

「なんだか家らしいみたいね。そんな氣がしない？」

そして弟の手前、まだ幾らか顏を上氣させ、一方の茶箱の蓋を取つてみせた。

「これはね、着物よ。一杯分てれてゐる僕に笑ひかけて立ち上り、亂雜に投げ込まれてある荷物の整理をしはじめた。

茶箱二個、行季一個、鏡台一ッ。

此の日の主要な家財道具であつた。——この貧しさから、僕はふと、こんな貧乏な引越しをしたり、こんな哀れな同棲生活をはじめた戀人だちを思ひ出した。

彼らはたいがひ小說の中の戀人だちか、でなかつたら、自分がかつて、自分の小說の中に描かうとした戀人たちであつた。

僕はこんな貧乏な戀人同志に、どれほど親愛さを感じたか知れはしないのだ。

それが、今の自分たちの姿である。少なくとも、それに近いものであるに相違ない——何か、胸にせまる感じで、そんな事を考へながら、僕はS子の姿をしみじみとながめてゐた。

色とりどりのいかにも女つて云ふんだらう？」

「え——」

S子は素直にうなずいて眼を伏せた。

僕は、他愛なくも眼頭が熱くなるやうな氣がした。

僕は、他愛なくも眼頭が熱くなるやうな氣がした。

S子の不幸な環境が、又僕の上なく美しく、可憐に見の頭にうかんで來たのであ

えるのであつた。僕達の外に若し誰もゐなかつたら、僕はきつと彼女の肩をかひが抱いてあらん限りの力で愛撫したにちがひない。そんな感情をこめて、僕は彼女に云つた。

「ずゐぶん一杯あるんだなみんなきれいな着物だ。S子がこんな着物を着たところ俺みたいな」

「え、着るわ。——でも、あたしね、こんなの、もう着る時がないなんて思つた事二度も三度もだつたわ」

「死ぬことを何度も考へた

S子は素直にうなずいて

僕は、他愛なくも眼頭が熱くなるやうな氣がした。

S子の不幸な環境が、又僕の上なく美しく、可憐に見の頭にうかんで來たのであ

る。

「死」といふ言葉も、彼女ひが口にする場合、普通の娘たちの時のやうに、おかしんくもキザでもないのだ。そた不幸な過去を持つて來たなのである。

（へたばらず、よくがんばつて來た——）さう云ひたいほろりとした氣持ちを

「ばかだな、S子は——」

僕は笑つた。

「でも、もういゝわね」

「あ」と僕は云つた。云ひながら二度とS子に自殺などを考へさせてなるものかと自分に云ひきかせてゐた

△多賀さん、いよ／＼御自分のことをかき出しましたね。しかも現在あんたさんの身邊に起りつゝある生々しい出來ごとを。「ある男の手記」の中のS子は多分す×子さんでゞざんせうがどうです、一そ多賀達夫のペンネームも本名の大××と自白しませんか。

さうしたら少々位のおのろけは默つてきいて上げますウ。終りッ。

（平銀座ボーイ）

短歌

國井勝守

さへ／＼と澄渡りけり秋の月森の細道獨り行くとき

戸をあけて今朝の寒さを驚きぬ庭の垣根におりた初霜

ポットリと又落ちにけり椿花春雨の降る午後の校庭

（舊作から）

村上由美子

寄せ返す波のしぶきの佗びしくも繼しき名をば砂に描かむ

語り得ぬ戀故やせし我が顏を鏡にうつしぢつとながむる

感傷

齋藤まさる

目足も早くなれば忘れかけた胸の古傷が風にしみるんだ

そのかみの詩人の唄へる戀の歌とて……

嘆きと悲しみと苦惱の伴奏無き アルトか

無花果の葉の蔭に燒付く樣な情熱の口付がほのかに殘つてるんだ

二十五の戀だよ

馬鹿な話さ！！

秋雨がしみ／＼と佗びしい唄をつぶやいてゐる

あきらめ

吉田宗一

生れた子が次々に死んで殘つた子は白痴だつた

生殖を奪はれた四十女は秋！ 鳳仙花の實のはじけるのを見て默つて目を閉ぢた

靜涼

佐山和子

さゝと芒の葉の合間に物靜かな

秋がひそみました

荻のうすむらさきするしきりに玉をこぼす

こはろぎでも

たつた一つでした

亂れ飛ぶは太與

投稿歡迎

創作

青嵐

田端弓子

（四）

かういふ風ないきり立つた心で眺めてゐると、更に嫂の心構へや行爲は隙だらけのものに見えるのであつた。

畫からになると毎日のやうに他愛なく晝寢をして了ふ嫂なのである。水々しく肥つた身體を無雜作にゴロンと仰向けにして、赤ん坊のやうに兩手を丸く擴げて眠りこけゐる嫂を見ると、何て飾色のない、とふと微笑したい心持ちも起きるのであるが、その直ぐ後からする時には自分のばつかり父や母は晝寢一つしないで立働いてゐるのに、どんなで心持ちなんだらうといふ面憎い考がモク／＼と頭をもたげてくるのであつた。

十八になる妹の靜代もボツ／＼と嫂の不平を云ひはじめてゐた。

『照江さんは家にばつかりゐつてね、何も彼も家のこの居る所へやつてきて、そんなに姉妹が一緒にばかりから。嫂さんもあれで仲々もまだ暇があつた時に自分の縫物なんかはするものだつて、近所の小母さん達が云つてたわ』

『うん。それが本當だらうかしてくれる？』

『うゝん。あの人がお裁縫かまし屋のお母さんがよくの縫物なんかはするものだつて、近所の小母さん達が云つてたわ』

『お母さんはそりやあ照江さんびいきよ。自分の子よりも姪の方が可愛いのかしらけど——。それにしてもやていつも一つ所にゐることが多かつた。無論嫂の不平なんぞもしば／＼問題になつた。すると母はよく二人のなんぞに構つたらいけなつて、何も彼も家のこの居る所へやつてきて、そんなに姉妹が一緒にばかりから。嫂さんもあれで仲々もまだ暇があつた時に自分の縫物なんかはするものだつて、近所の小母さん達が云つてたわ』

『うん。それが本當だらうことが度重なると、

『ぢや私と靜代とはハネツルベのやうにいつも兩端に離れてゐなきあならないといふの。私が二階にゐる時には靜代は下に、靜代が下にゐる時には』

母は、急にひつたくつて押しつけるやうに

『そんな意地惡云ふのは止さないかい。誰れでも他所へくると、いろ／＼と目に見えない苦勞をするものだから。嫂さんもあれで仲々心配はしてるだらうし』

ながら子は大仰に口をすぼめてみせ

『ほう！あれで——』

◎晴雨に不拘期日嚴守
クリーニング
森西洋洗濯店
平新川町廿九番地

金時バー自慢の
江戸前御壽し
大衆向食堂 金時バー
小名濱町中島通り
電話十二番
◎出前迅速◎

ほねつぎ
平町搔槌小路四
大河内接骨院
電話五八八番

大正火災保險株式會社
三井生命保險株式會社 代理店
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港內
電話一四四番
鑛油部
魚市場

内科、小兒科、婦人科、花病科
久保田醫院
小名濱町
電話二二番

合理化せる文化的……
セメント瓦製造販賣……
高木惣治
小名濱町西町

衛生材料・治療器具・
御用命は 白石藥舗
きゝめでうれる 病藥 妙淋丹 十日分 三圓
販賣元 小名濱中島通り 電33番

技術流行型揃安價敏速に
御注文に應ずる
皇恩會 小松洋服店
平町才槌小路十二
小松正治

森口產科婦人科醫院
小名濱町舟引場登記書先
◆入院應需◆ 電話二〇一番
江名町分院 江名町郵便局通り
毎日午後二時——六時迄出張診察

薄利多賣主義
建築用材 製板 内山材木店
小名濱町後

撞球
ビリヤード
金波

農村を明るくするものは
日食の魚粉末（フイッシュミール）
飼料として……肥料として
有効適切は一度御試驗の人は保証す
御申越次第見本持參社員が御說明申上ます
日本食料工業株式會社
小名濱出張所

◆看護婦募集◆
鈴木眼科醫院
本院植田町
分院小名濱町古港

外科內科花柳病科レントゲン科
草野醫院
小名濱町中島
電話一七三番
▼入院隨意▲

優秀！美術的
印刷の御用命は
長瀨印刷所
小名濱
磐城座入口

口腔外科
齒科一般
森合齒科
植田町本町通り
院長 森合芳男
電話植田七十一番

機械新設 体温計無料檢査
あなたの體溫計は正確ですか？
目に見えぬ狂ひを見せる檢度器
毎月十日は無料で
檢定して差上げます
日本酸素株式會社
吸入用酸素
酸素吸入器 特約指定販賣店
福島縣小名濱町
商工省指定計量器販賣店
資生堂
電話一四七番

銘酒は……
清世界
發賣元 清水屋本店
小名濱町電話六番

鐵道省指定記念に

こたき ゆきの

◆乘合自動車は……
乘車券 ユモト驛前 湯本自動車商會
差上所 小名濱 矢內自動車部 馬目自動車部 西野屋輪店
ユモト——小名濱間無料サービス乘車券を御利用下さい

◆貸切自動車は……
ユモト——小名濱間五人樣以上無料サービスいたします（サービス料金はお勘定よりお引き致します）

△そうしますと其の他の方面からの皆樣にはどういふ事になるか？平町方面からはコタキまでの料金二圓のうち一圓はコタキサービスになり結局お一人二十錢づゝ、泉驛、江名町方面からも二十錢づゝですむことになります

△尙御宴會は從前通り二十人樣より平、植田までお迎ひ自動車を差上げて居りますからこれまた合せてどし／＼御利用下さる樣御願申上ます

（御宴會は前以つて電話にて御申込下されば一層便宜です）

皆樣の足賃を無くする
無料大衆サービス!!!

小瀧鑛泉
湯の瀧
鐵道省指定旅館
電話【小名濱】一〇三番